

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東洋リビングサービス株式会社(仮称)	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市西区草部587番1	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	160人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年3月5日
敷地面積	18,325 m ²	作成者	古久根建設株式会社 清水貞博
建築面積	5,568 m ²	確認日	2021年3月4日
延床面積	15,238 m ²	確認者	清水貞博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	クリーニング工場は乾燥機等の発熱量の大きい機器がある為、熱気が溜まらないように、換気及び風通しに配慮し良好な作業環境づくりに配慮する。窓をできるだけ多く設け、明るい作業スペースを確保する。計画建物北側の隣地境界までの距離を十分に確保し、周辺への日影に配慮する。道路側(東、南)には生垣を設け、高校が隣接する北側には高木の緑地を確保し、景観に配慮する。	その他 0
Q1 室内環境	事務所部分について、F☆☆☆☆の建材を採用し、建物内を禁煙とするなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	事務所部分のBPI _m =0.79とし、建物全体のBEI _m =0.79としている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率82%とし、光害対策に配慮した設計とするなど、敷地外環境の向上に努めている。
Q2 サービス性能	事務所部分について、十分なフレッシュスペースを確保している。また、建物全体について、壁長さ比率を低く抑え、建物のサービス性能の向上に努めている。	
LR2 資源・マテリアル	標準的な配慮を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	東洋リビングサービス株式会社(仮称)堺工場新築工事		BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区草部587番1		0.5	B-
	主用途/延床面積	工場	15,238.25 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	★★★★
みどり・ヒートアイランド対策	2	★★
エネルギー削減	3	★★★
建物の断熱性	1	★
安全快適な暮らし	3	★★★
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		2.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	3	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.1
建物の断熱性	評価項目	スコア	1	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		1.0
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		1.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		2.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	○	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		4.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	